

2011年8月6日の土曜日、午前11時から午後6時半くらいまで、平成23年度川崎医科大学学術集会が開催されました。第2回です（回数で呼びましょう、そうすると第10回記念大会とかも特別企画を講じやすいので）。本学術集会は、昨年度から開催されました。その前までの学内プロジェクト研究の発表会はテーマに沿った班ごとに開催されていたのですが、発表者とその教室員が発表時間の前後だけ入れ替わり参集し、結局班長を任命された先生方の労力と時間だけが費やされるという形式だったものを、福永学長、柏原研究担当副学長のご尽力もあって、正式な学術集会にすることにより相互の意見交換や複合的な研究体制の構築に大きく貢献したものとなりました。現に、今年度のプロジェクト研究費では複数教室にまたがる特別推進研究枠が設けられ、学術集会の成果も相俟って、多くの応募もありましたし、採択研究では革新的な研究が進められていると聞いております。

昨年度の第1回から川崎医学会も共催ということで、参画させていただきました。

そして今年の第2回、川崎医学会も少しだけ貢献させていただきました。

①川崎医学会が刊行しております川崎医学会誌/Kawasaki Medical Journalの2011年37巻2号として、抄録集号を発刊いたしました。

②今年度から、最優秀発表賞（糖尿病・代謝・内分泌内科学：加来浩平先生）、最優秀ポスター賞（腎臓・高血圧内科学：佐藤 稔先生）、優秀発表賞（神経内科学：大澤 裕先生、薬理学：黒川和宏先生）、優秀ポスター賞（免疫学：石原克彦先生、解剖学：清蔭恵美先生）が制定され（括弧内は本年度の受賞者）、この副賞を川崎医学会で準備いたしました。

③川崎医学会会長特別賞として、医科大学4年生の赤木貴彦君を表彰しました。

④今年度は、最後のセッションが終了した後、表彰式・



閉会式までの間に「意見交換会・懇親会」・・・そうです、いわゆるハッピーアワーが設定されまして、その飲み物（ノンアルコールビールでしたが）を提供いたしました。

いかがですか？ 川崎医学会も結構貢献したでしょう？ そうそう、種々の賞（特別賞も含めて）の副賞は、箸一膳（一具あるいは一揃）です。そしてそれぞれに「平成23年度川崎医科大学学術集会 2011.8.6.」と、例えば「最優秀発表賞」とか「優秀ポスター賞」とかが、ちゃんと明記されているものだったのです（もちろん、賞によって箸の意匠も異なっています）。また「優秀賞」と「最優秀賞」の違いは一緒に差し上げた箸置きに表れてもいたのです。本当は、受賞された先生に、その場で箱を開けていただいて、会場の方々に紹介していただきかけたのですが、授賞式の司会をしていた者が（私でした）、それを云いそびれて、皆様に見ていただく機会を逸してしまいました（今、思っても残念でした）。

またハッピーアワーのノンアルコールビールは、暑熱の中、大学から台車を押して大学近隣の「タコム」に併設されている「チ○オ」さんで24本入りを3箱（それぞれ銘柄別・・・かつ、一種類は特別期間限定

30%増量缶!), 私自ら購入に行ってきました(ついでに言うと, 学内某職の職権乱用で, 学内某所でハッピーアワー直前までキンキンに冷却させてもらいました, 冷えているのが喉越し一番です)。

今年, 口頭発表が22題(学生発表も含む), そしてポスター発表が62題でした。場所は, 昨年度は校舎棟の7・8階学生・教職員ラウンジとM-702教室でしたが, 今年度はメディカルミュージアムの3階が口頭, 2階がポスター発表でした。そして, これだけ多くの素晴らしい発表に対して, 川崎医学会としてはその記録も残さないと, と思いましたので, 口頭発表の先生の発表のお姿, さらに座長の労をおとりになされた研究委員会委員の先生方, 質疑応答に立たれた先生方, そしてポスター会場の様子や聴衆席の会員の先生方の様子を写真に撮って, 川崎医学会のホームページに掲載させていただきました。

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/med/> このトップサイトのメニューの中に「川崎医科大学学術集会」というところがありますので, そこをクリックしてみてください。それぞれの先生のご発表の, 本当に真剣なご様子が垣間見れると思います。また丁度ESSの学生たちが入会している国際医学生連盟を介したオーストリア, チェコそしてスイスからの短期基礎医学研修海外留学生が解剖学と衛生学に滞在していた時期でしたので, 彼らも会場には姿を見せていました。その様子も写真の中で見ていただけるかと思えます。

昨年度は初回ということもあって, 医学会もどのように学術集会に貢献すればいいのかを模索した部分もありましたが, 今年度はそれでもいくつか具体的に貢献できて嬉しかったと思っております。ようやく学術集会としての定着感も出てきましたが, しかし, 時期が種々の学会や研究会などが少ない時に, そして教育についても比較的教員の先生方にとって余裕のある時期にということで8月第一週の土曜に設定されているのですが, 夏季休暇を取られる時期でもあり, 参加が難しい先生もいらっしゃるのかもしれませんが, できれば, 口頭の先生にもポスターを同時掲載していただいて, 1週間くらいは, 学内のどこかでポスター掲示を継続すると, 昼休みとかにでもブラリと覗けるようになって……もちろん, 本来の目的であります学内の研究活動の活性化や開かれた意見交換, 建設的議論の場が構築されていくのではないかと思います(でも, それにはMMはちと遠いですよ, せめて校



舎棟ラウンジか……5～6階の中央教員秘書室横ロビーとカンファレンス室でもいいのですが, 問題はポスター貼ったままで移動は大変ですから, 学術集会もその場で行わなくてはならないということです。うーん, 思案しましょう!)

最後になりましたが, 協力を惜まずに会の終了まで(そのあとの片付けなども含めて) ご尽力いただいた事務部・現代医学教育博物館のスタッフの方々にも改めてここに感謝を申し上げます(医学会HPの写真集の最後にはスタッフさんたちの様子もアップしていますから! 感謝を込めて)。

次年度も素晴らしい活発な学術集会になりますように, 川崎医科大学教員つまり川崎医学会会員の皆様, 何卒よろしく願い申し上げます。

追伸: これで川崎医学会誌は毎年2号を7月末に刊行することに決まりました。そうしますと, それまでに1号, 同時から少し遅れて3号, そして年末目標(川崎医学会誌はカレンダーイヤーで発刊し号数が変わります)4号を発刊することになります。皆様, こちらも投稿数増加に向けて編集委員会でいろんな討議をしておりますが, 是非, 順調な発刊がかないますように, ご投稿のほど, お願い申し上げます。